語りえぬものを語る

禅の言葉と思想

何燕生、ウィッテルン・クリスティアン、古勝隆一［編］

A5判・上製カバー・五九二頁・定価八、二五〇円（税込）

2026年3月刊行

禅は言葉を否定するのか、それとも肯定するのか？
時代や地域を乗り越えて、禅は人々の考え方に影響を及ぼしてきた。「越境」する禅をめぐって、多様な観点から出発し、共同研究の力で学際的に問う。

総論　［何　燕生］

◆第一部　禅研究の学説史を読み直す

中国学としての禅研究——京都大学の中国禅宗史研究をめぐって　［何　燕生］
玉城康四郎の道元研究　［末木文美士］
存在論としての証上の修——道元と井上克人を結ぶ関心［水野友晴］

◆第二部　哲学・中国思想と禅

道教の「相」の思想——「七十二相、八十一好」を手がかりに　［山田　俊］
道元の「身心脱落」から見た「二」　［劉　梁剣］（金子奈央訳）
『正法眼蔵』仏経巻に関する覚書——中国書物史の視点から　［古勝隆一］
馮友蘭哲学と禅　［齋藤智寛］
生死輪廻を考える——殺すことと産むこと　［氣多雅子］
唐代禅における「即心是仏」提示の差異——馬祖の系譜における空観　［小川太龍］
『景徳伝燈録』における『法華経』の系譜——慧思・智顗と徳韶・延寿　［柳　幹康］
宋代「文字禅」の思想史的分析　［龔　雋］（土屋太祐訳）
禅知識ベースにおけるテキスト再利用——予備的な一考　［ウィッテルン・クリスティアン］

◆第四部　日本禅の言葉と思想

道元における言語の位置づけについて［長野邦彦］
円爾における言葉の超越の意義——『聖一国師語録』の検討から　［和田有希子］
虎関師錬の禅思想における言葉　［佐久間祐惟］
テクストとして「語られぬもの」／「語られるもの」——『大鑑清規』の「日本様」と祠山張大帝　［金子奈央］
『宗鏡録』と世阿弥の能楽論の思想的関係——「心」と認識の在りかたへの注目　［重田みち］
一休とその弟子たち——「不伝の伝」をめぐって　［飯島孝良］

あとがき——編集後記に代えて　［古勝隆一］

◆第三部　中国禅のテキストと言葉

言説否定の主張と経典の利用——『三入四行論』長巻子』の場合　［石井公成］
『壇経』の言語観　［沈　庭］

執筆者一覧

【編者略歴】

何燕生　東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）（東北大学）。現在、郡山女子大学教授。専門は宗教学、とくに禅思想史。〔主要業績〕『道元と中国禅思想』（法藏館、二〇〇〇年）、『正法眼蔵 訳注』（道元著、宗教文化出版社、二〇〇三年）など。

ウィッテルン・クリスティアン　ゲッティンゲン大学哲学研究科修了。博士（Ph.D.）（ゲッティンゲン大学）。現在、京都大学人文科学研究所人文情報学創新センター教授。専門は人文情報学、中国禅仏教。〔主要業績〕「《景徳伝燈録》から《五燈会元》へ——禅宗の変遷と燈史の編集」（『東方学報（京都）』九四、二〇一九年）、『センター研究年報 2015　特集 漢籍リポジトリ』（編著、京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター、二〇一六年）など。

古勝隆一　東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士（文学）（東京大学）。現在、京都大学人文科学研究所教授。専門は中国古典学、とくに古典注釈史。〔主要業績〕『中国中古の学術と社会』（法藏館、二〇二一年）、『中国注疏講義——経書の巻』（法藏館、二〇二二年）など。

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館
〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp　info@hozokan.co.jp

仏教 / 禅 / 哲学

注文書

（書店名）

ご担当　様

冊

法藏館　八、二五〇円（税込）

何燕生、ウィッテルン・クリスティアン、古勝隆一［編］

語りえぬものを語る

禅の言葉と思想

ISBN978-4-8318-5750-7 C3015

ご住所

お電話

お名前